

皆野・長瀬ロータリークラブ

週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30
◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭
◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内
Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp



IMAGINE ROTARY

イマジン
ロータリー

第1619回例会 令和5年5月25日(木)

【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんばんは。今日は世阿弥の言葉でという事で、書いてある事はなかなか実行出来ないのですが、世阿弥が強調している思想です。



「時に用ゆるをもて花と知るべし」という事で、世阿弥自身は「花」の重要性を何度も強調している世阿弥ですが、しかし彼は「花とて別にはなきものなり(花といっても、別にこれといったものがあるわけではない)」といっています。

ただ、あるのは時との関係性だけ。「時」に合っているものが良いもので、合っていないものが悪いものになる。あらゆることは時機を得ているか、「時」との相対的な関係で決まるといいます。(時に合っているかどうか、そこを強調しながら、それこそが芸能の中でも大事だと言っています)今がどのような「時」なのかを知り、そしてそれに最も適合した判断ができるか、行動できるか、それこそが「花」なのです。

世阿弥は「秘すれば花」と言っています。世阿弥は「秘することによって、それは偉大な働きとなる」と言っています。現代でも新製品の発表前などは、その秘密が外に漏れないように細心の注意を払います。「こんな製品が出る」ということが先に知れてしまうと「な～んだ」となってしまいます。(ある程度想像出来るけれども断定しないようなという事で)

能では、演者はあまり観客に働きかけません。リアリティという観点からいえば、全然リアルではない。動きだって控えめですし、話している内容すらよくわからない。知りたかったら、そっちが来い、といわんばかりの分かりづらさです。まさに「秘して」います。しかし、それによって観る人が能動的になり、ふだんは眠っている脳に内蔵されているはずの見えないものを見せるを活性化させます。(安田さんという人は脳内ARという言葉を使っています。ARとは「Augmented Reality」の略で、一般的に「拡張現実」と訳される。実在する風景にバーチャルの視覚情報を重ねて表示することで、目の前にある世界を"仮想的に拡張する"というもの。)

そうすると、とてもシンプルな舞台なのに、山にかかる月が見えたり、波の音が聞こえたりと、見えないものが見え、聞こえない音が聞こ

えてしまうのです。秘することによってのみ咲く花があることを能は教えます。

この言葉だけでは分からないかもしれませんが、謡曲では言葉で謡っていると、ほんとに付きが見えたりとか、私自身も経験してます。不思議な機能があるんだという事が、実際には表現出来ませんが、この人の意見には納得出来るかと私自身は思っています。皆さんも能なり謡なりを聞く機会を持つのも良いのではないかと思います。

【幹事報告】

山田 利明



今日は幹事報告は特にはありません。



ニコニコボックス

♪例会欠席ばかりですみません。

宮前 英雄会員

合計 5,000 円

出席率 100%

謡曲「熊野」



宮前 英雄会員



新井 康夫会員

上長瀨駅周辺清掃

